

リサイクルの
洋服・着物・家具
の安価販売！

りっくるだより No. 252 (2023年10月号)

お手頃価格の
着物リメイク製品・手すき
葉書・ふすま張替

工房イベント

畳縁でバッグ作り

日時：10月15日(日)
10:00~14:30
内容：畳の縁でA4サイズのバッグ作り
対象：大人(職業用ミシン経験者)
人数：6人
参加費：600円
持参品：裁縫道具、ものさし、昼食、ごみ入れ、布は先生が用意
締切：10/6(金) **必着**



<見本>

申し込み方法

来館、はがき、FAX(974-4024)、HPイベント申込フォームで <https://www.rikkuru.jp>
住所・参加者全員の氏名(フリガナ)・学年・電話番号・イベント名を記入の上、
〒790-0054 松山市空港通1-1-32 まつやま Re・再来館
「畳縁でバッグ作り」係まで

りっくるHP



～松山の古着回収～

松山市の清掃課では、古着(衣類)を可燃ゴミとして回収しています。しかし、障がい福祉課では「障がい者による古着・廃食用油の再資源化事業」として、平成23年7月よりサポート店(ホームセンターやスーパーなど)、りっくる、一部の公民館、市役所に回収ボックスを置き、古着を拠点回収しています。市民の皆さんによって出された毎年400トンを超える古着は、障がい者の方々によって回収運搬、選別後りっくるでも販売されることで雇用を生み出しています。

事業開始以前、平成21年度からNPO法人「衣サイクル研究会」が、①「可燃ごみ」として焼却されている家庭の衣類(古着)を回収し「Reuse再使用」「Recycle再利用」により90~100%を資源化することで「地球温暖化」の原因の一つである二酸化炭素を減らすこと。②衣類の廃棄を見直し「もったいない」の気持ちを持つことで「廃棄物の発生抑制」につなげ「衣類の3R」による循環型社会を目指すことを目的に、試験回収活動をはじめました。毎月1回(休日)、スーパーの店頭、大街道、大学祭などでイベント回収をしました。

平成22年1月には、アイテム愛媛で開催された「メッセ・まつやま2010(松山姉妹・友好都市&環境フェア)」において、松山市内で回収された古着の試験販売を、行政・障害者共同作業所・NPO・企業が協力するモデル事業として行いました。

衣サイクル研究会の活動は、環境省の22年度循環型地域支援事業に採択され、三津浜にある大型店舗の催事場を22年8月から半年間借用し、古着の販売と回収をしました。その実績により、松山市が古着回収を始め、衣サイクル研究会は活動目的である「衣類の3R」の仕組みの構築を達成し、活動を終わりました。

県内の他の市町では、衣類を十字に紐で縛って出す仕組みのところがあります。雨の日に出されると濡れたり汚損の可能性が高くなり、古着としてのリユース・リサイクルができなくなります。濡れないようにビニール袋に入れ、雨天でも出せる拠点回収の松山の仕組みはよいと思います。

(伊藤)

修理工房 <持込可能な家具の修理><網戸張替>

※申込方法・締切(9/25)・結果連絡方法は講座と同じ。事前申込が必要
10月14日(土)10~12時 ※家具・網戸実費(600円程度/網・ゴム持参は100円/横幅85cm以上は別料金)

※ 講座・イベント等、申し込まれた方への結果連絡は、受講(参加)できる方のみとなっております。

※ りっくるだよりのバックナンバーは、HPで6ヵ月前まで閲覧できます。

※ facebookで日々のできごとを掲載しています！

ホームページ <https://www.rikkuru.jp> からログイン！